

平成28年第2回多文化共生を進める団体交流会 議事概要

日時：平成28年6月13日（月）

午後7時～8時40分

場所：名古屋国際センター第一会議室

1 防災についての意見交換

- ・災害時の拠点である名古屋国際センターが機能しない場合の対応策が不十分
- ・り災証明書の記入例の多言語版を作成すべき→作成済み
- ・名古屋市が被災した場合は、市内のボランティア等は機能しない可能性が高いため、他都市と協定を結ぶべきではないか→東海北陸の都市と協定を結んでいるが、ボランティアの派遣まではできていない。
- ・「災害時外国人支援キット」の数が足りていない。
- ・外国人に伝える方法について、絵を入れたり、やさしい日本語を活用する必要がある。
- ・明日、地震が発生したら、外国人に伝えるツールの作成が間に合わない。この集まりでの連携が必要。
- ・ツールも必要だが、地域内の助け合いが大切→隣近所のあいさつ、声掛け、回覧板での連絡など
- ・防災だけで考えるのは効果的でない。学校や地域のイベント等で啓発を行うとよい。
- ・被災した際、避難所間の情報共有（物資の状況等）ができる体制の構築。

2 次回のテーマ

- ・子どもの教育について
- ・7月19日（火）